

シリーズ「さいこう」④



小茂田地区発信！地域づくり計画

みんなが集まっつて楽しむ、
それが集落楽



元寇襲来や対州鉾山で知られる厳原町小茂田地区に、6月中旬、色とりどりの花菖蒲が咲き誇っていました。

地区の住民が、花のある美しい町にしようとして約900株を植え、手入れをした菖蒲園。今ではちよつとした対馬の観光スポットになっています。

小茂田地区は、平成20年11月、地域マネージャー制度のモデル地区としていち早く活動をはじめ、住民あげての元気な地域づくりを展開中です。

合言葉は

「やる気・元気・笑顔・歴史と自然の集楽」

小茂田はどう変わり、そしてこれからどう変わるつとしているのでしょうか？

小茂田地区って どんなところ?

厳原町
小茂田地区

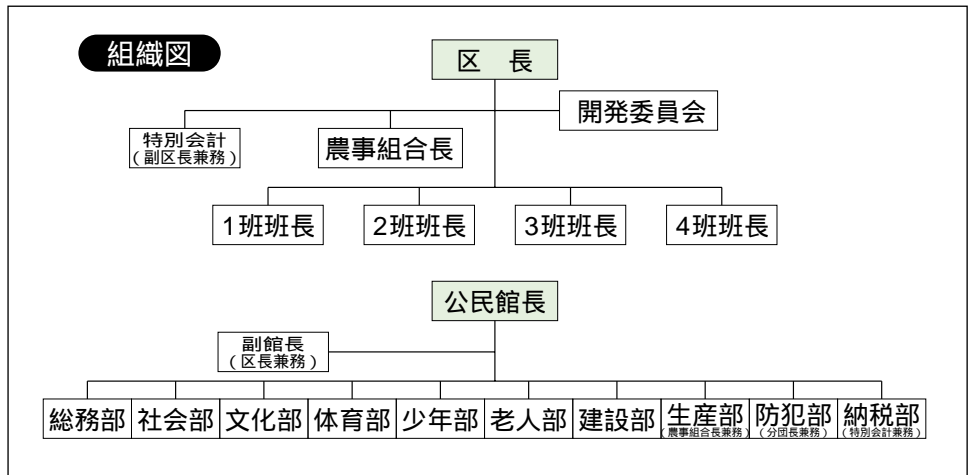


対馬の西海岸に面し、主要地方道棧原・小茂田線沿いに位置します。人口185人、世帯数65世帯（平成23年6月末現在）65歳以上の高齢者率は33.3%。特に20代の若年層が少なく、少子・高齢化問題を抱えています。

漁業を中心に第一次産業に従事する世帯は全世帯の19.3%で、多くは地区外へ勤務するサラリーマン。元寇襲来で有名な観光名所「小茂田浜神社」があり毎年11月に大祭が行われています。



組織図



古くから自治活動が活発で、地区の行事や運営方針は全世帯が参加し毎月1回開かれる定例会や臨時総会で決定されてきました。スポーツ大会、小茂田浜神社大祭、公民館だよりの発行、地区内清掃、防犯活動など地域を挙げたまとまりのある活動が行われています。

平成20年11月、地域マネージャー制度のモデル地区指定を受けたことで、行政と連携した地域の課題解決に取り組みはじめました。地区にはこれからの地域づくりを中心に進める「開発委員会」が設置されています。

平成20年度

地域マネージャー制度を使ってやってみたいことアンケートの実施

(回収率91.9%)

- ・小茂田自治公民館の新築
- ・児童公園の整備(遊具)
- ・河川の整備
- ・景観対策(花を植える)
- ・グループ育成(長男の会、嫁さんの会など)
- ・小茂田浜神社大祭の盛り上げ

などが回答されました。

平成21年度

地域の要望について地域マネージャーが行政担当課と協議

児童公園の老朽化した遊具の撤去と新設、住民手作りの砂場づくり

景観対策として菖蒲園の整備、植え付け
休耕田に菜の花の植え付け
ひまわり・レンゲの種まき

平成22年度

河川改良への陳情と整備
地域マネージャーの積極的な呼びかけで一年間で受診率30%アップ！特定健診の受診率が対馬一に(72.4%)

EM研究会を発足し、EMぼかしの普及と小茂田浜神社横の潮だまり悪臭対策にEMだんごを投入
対馬市の「わがまち元気創出」支援事業補助金で佐須川沿いにツツジを植栽
助け合い、住み良いをキーワードにキャッチコピーの募集
地域マネージャーアンケート第2弾実施。住民の手による地域づくり計画書の策定とこれからの重要課題の集約をはかる

住民が願う小茂田地区の未来予想図



さまざまな取り組みを通して「地域づくり計画」が完成し、5つの目標を掲げました。

コミュニティ施設の充実

……めざせ建て替え！

支え合い健康で暮らせる地域づくりの推進

……住民の健康や介護を考える

自然と人に優しい農業の推進

……減肥料・減農薬の米づくり、EMの活用

水害・災害に強い集落づくり

……河川改修や災害対応の強化

地域の伝承文化の継承

……地区の顔『小茂田祭り』を盛り上げよう

一番の願いは老朽化した公民館の建て替え



子どもから高齢者までいつでも自由に使える、地区の拠点となっています。利用頻度はおそらく対馬一では？

現状の公民館の問題点

雨漏り 外トイレ 古い台所

住民はこんな公民館が欲しい！

- ・対馬の木材で建てられたぬくもりのある公民館
- ・太陽光発電や合併処理浄化槽など環境にやさしい公民館
- ・活用しやすい調理施設が整った公民館



地区の様子がこんな風になりました



ブランコ、滑り台など老朽化していた公園の遊具が新しくなり、地域の子もたちが安心して遊べるようになりました。



除草作業後、溜まった土砂を取り除き、水の流れを良くしました。



休耕田は見事な菖蒲園になり、佐須川沿いには市の補助事業でツツジを植栽。菜の花も春の小茂田を彩りました。

すべてはここから始まる 小茂田定例集会!

小茂田地区では古くから、定例集会和と呼ばれる全世帯参加の会議を毎月25日に開催しています。地域に関わるあらゆることがこの場で話し合われます。

この他、広報紙や行政からのチラシの配布、地区の会費・公共料金・市税等の支払いもこの集會時に一斉に行われるので、納税率も100%の継続記録を更新中です。

「地区のまとまりは一番の自慢」
 そう話す住民が多いのも納得の実態です。

明日は草創です
 みなさん協力を



アソビピックの
 選手を決めます



この日の議題はAEDの設置報告や神社の階段整備、市税徴収のお知らせなど。
 地域づくり計画の進捗状況の報告や行事の案内も回覧ではなく、口頭で行われるので、住民の参加意識も自然と高まります。

地域マネージャーで保健師の井田さん。「今年度も健診受診率ナンバーワンをめざしましょう」「集會時の禁煙はみなさんのおかげで達成しました」「次のEM講習会の日程が決まりました」など必ず、集會では住民との時間を作ります。



公民館内には地マネコーナーがあります



開発委員会の皆さんは地域づくり計画実践の頼もしいリーダー

インタビュー



井田幸伸さん
 妻が区長をしていることもあり、定例集會の進行に関わっています。小茂田地区は何をするにもまとまりがあります。さらに地域マネージャーが入ったことで市の事業がわかりやすくなったし、地域づくり計画も地マネに背中を押してもらえるので心強いですね。住民とともにできるものから進めていけたらと思います。公民館の新築は難しい課題であると思いますが、地域ができること、地域の労はいくらでも提供するという思いで、実現を目指したいです。



松久徳恵さん
 地域づくり計画の中で特に興味があるのは、EMの普及です。小茂田地区は地域マネージャーに女性がいることが頼もしいです。気軽に意見を言うようになった。元氣な活動がしやすくなりました。元氣なこと、楽しいことがたくさんある和やかな小茂田にしたいと願っています。



齋藤基さん
 地域マネージャー制度の導入で、あれしよう!これしよう!と盛り上がりつつあるのを実感しています。また行政と地域のパイプができたので、行方からの返事が早くなったと思います。昨年、子どもたちがEM活動に参加し、EMだんごを作る過程から、成果までを知ることができました。父親として子どもの代まで小茂田の良さが続いているように頑張っていきたいですね。



神宮雅文さん
 小茂田の良さは「一致団結」です。子どもから高齢者まで本心に仲がよいんですよ。地域づくり計画については、地域マネージャーが分かりやすく示し、住民の要望が実行されているか常に点検をしていく



齊藤暖人くん
 古い滑り台は、洋服が汚れたり、引っかかりたりしていたけど、新しくなつてうれしかったです。公園には前より人が来るようになりました。きれいにしたいと思っています。EMのことを知って、だんごを作つて潮だまりに投げました。水がきれいになればいいな。



増田敬一さん
 地域マネージャーとして最初に取り組んだのがアンケートの実施でした。発言したいけれど、手をあげる勇気がないという声をうけて作成しました。90パーセントを超える回答がありそれが活動のきっかけとなりました。あくまでも主役は住民。私たちの役割は、地域の皆さんがこれまでしてきたことを整理し、見直すことで、それが地域の頑張る力につながっていくだけだと思います。

地域に入り込んでいける地域マネージャーはやればやるほど、達成感を得られます。地域のみなさんの反応がすぐに伝わります。小茂田らしく、年をとつても住みやすい、助け合いの地域を住民の皆さんと目指します。

小茂田地区地域づくり計画は住民の笑顔とともに元気に進行しています。

住民と地域マネージャーの連携プレイ、まさに民と官が一緒に汗を流し、考える、協働のあり方がこの地区に見えました。「対馬で一番まとまりのある」「対馬で一番公民館を活用する」この誇りが小茂田の地域づくりを動かしています。